

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 1 日

事務事業名		筑波高原キャンプ場管理運営事業			事業区分		担当	
					新規/継続		事務事業No. 040302000562	
		政策体系上の位置付け			単独/補助		050301	
政策体系	総合計画の施策名		0403 観光の振興			所属課		商工観光課
	政策名		04 活力ある産業のまちづくり			課長名		
	施策名		03 観光の振興			グループ		商工観光グループ
	手段名		02 ②観光資源の充実と商品開発			担当者名		
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計
		01	07	01	04	01	00	観光事業
					単年度繰返し (昭和41 年度~)			
法令根拠					☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			
桜川市筑波高原キャンプ場の設置及び管理に関する条例								

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>筑波山中腹にある筑波高原キャンプ場を管理運営する業務。 営業期間=5月1日~9月30日までの5ヶ月間 (平成30年度より7・8月以外は金・土・日のみ営業) 105日。 4月1日から受付 (電話・FAX)。期間中は管理人をシルバー人材センターに委託。管理人には利用者の受付業務、料金徴収ほか軽作業行ってもらっている。</p>	<p>管理委託契約業務。管理計画の立案。旅館業許可申請。利用者へ関係書類送付。予約受付。予約者名簿の調整。 利用者・利用料金集計表の作成並びに実績表の作成。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
管理委託契約業務。管理計画の立案。旅館業許可申請。利用者へ関係書類送付。予約受付。予約者名簿の調整。利用者・利用料金集計表の作成並びに実績表の作成。	営業日数	日	105.00	105.00	105.00	105.00	105.00
	管理人数	人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市民、県民、首都圏の人々	県民・首都圏の人口	千人	42,796.00	42,797.00	42,700.00	42,700.00	42,700.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
この施設を利用した人が、宿泊体験を通して自然に親しむことができる。	利用者数	人	660.00	660.00	660.00	670.00	670.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

			30年度	01年度	02年度	期間限定	
			(実績)	(実績)	(計画)	総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,589	2,358	2,335	0
		事業費計 (A)	千円	2,589	2,358	2,335	0
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

		01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
事業費の内訳	11 需用費	531		11 需用費	500
	12 役員費	123		12 役員費	125
	13 委託料	825		13 委託料	830
	14 使用料及び賃借料	879		14 使用料及び賃借料	880
		合 計	2,358		合 計

事務事業名	筑波高原キャンプ場管理運営事業	事務事業No.	40302000562	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和41年5月から事業開始 キャンプ場の形態が様変わりし、オートキャンプが主流となっているため、利用者が年々減少している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 筑波山登山の基地として宿泊ができ自然に親しめる施設である。 市の観光資源である貴重な植物や豊かな自然が体験できる貴重な観光施設であり、市の政策体系と結びついている。
有効性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 誰でも使用することが可能な観光施設の管理事業のため妥当である。
効率性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 施設が老朽化しており、使用ができなくなった施設から順番に使用を休止していくが、テントサイトのみ運営は継続を検討しており、利用者の意向など考えながら成果向上を図っていく。
公平性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 全体的に廃止した場合には、国有林の返却に伴う原状回復などの費用が発生するが、現在のテントサイトのみ営業では国有林の借地料すら賄えない状況。赤字続きで経営するより、今後は全面閉鎖も検討するべき。
公平性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 具体的な手段、事務事業名 上野沼やすらぎの里キャンプ場管理運営事業 岩瀬地区に上野沼やすらぎの里キャンプ場があり、市で2つのキャンプ場を営業している状況。比較的新しく利用者の多い上野沼キャンプ場1本に絞った方がコスト削減・サービスの向上につながる。
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 施設管理はシルバー人材センターに委託しており、必要最低限の管理のため削減の余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民、市民以外でも利用可能な施設であり、利用者には市条例で定めた料金を徴収している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	老朽化により危険な施設は修理せずに利用を休止している。テントの利用率が高く施設を休止による苦情も特になし。H29はテント料金の見直しを行い、H30より新料金(1人500円)を実施。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加		○													
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
	○																									
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>